



Colony SAGA

ひかり No.43

21世紀の施設経営は/施設長 大石安弘
苦情解決「苦情申出窓口」の設置について
障害者合同作品即売会・花見・調理より
研修・行事・実習・新人紹介

21世紀の施設経営は

施設長

大石 安弘

ようになった。

法律の改正によりサービスの共通評価基準が作成され、内・外部からも施設のサービスのあり方についての評価を受けるようになる。また、利用者からの苦情に適切に対応することを求められ、誠意を持って話し合い、苦情の解決に努めていかなければならない。更に、平成15年度からは、措置費から支援費に変わり、施設の利用期間が限定されたり、期間が延びると支援費が削減される制度に変わろうとしている。

これら一連の動きは、21世紀の福祉施設を取巻く環境も厳しさを増すために、常にサービスの質の向上に努め、独自性を発揮し他の施設との差別化を図って行く必要があるということを示唆しており、これらのことに誠意を持って取り組むことで施設の存在意義と、施設の存続が可能になると思っている。

授産施設の経営者は、他の福祉施設に比べれば経営能力をより求められると思います。景気が悪い昨今は特にその差が顕著に表れてしまう。心痛することも多いが、反面やりがいも多い。作業種目の選択については、ある程度採算性があればどんな業種にもチャレンジ出来るし、決して1つの仕事に固執する必要はないが、時代の変化に対応できる柔軟さは経営責任者としては是非身につけて置かなければならないと考えます。また、授産施設の経営は、景気に

大きく左右されることに違いはないが、景気が良くなれば職を求める障害者にはあまり見向きもされない。しかし、景気が悪くなり長期化すれば施設への問い合わせも増えて、施設の利用率も高くなる。これでは、一体景気の動向についてはどちらを歓迎すべきか悩んでしまう。このことからすると、残念ながら授産施設は「すぎ間産業」と言えるのかもしれない。これまで比較的穏やかな授産施設を取り巻く環境ではあったが、最近では先が読みにくい複雑な風が吹く

CONTENTS

障害者 作品展示 即売会

三月十八日(日)南佐賀のジャスコで約35施設が集まり作品展示即売会が行われました。

各々の特徴ある作品(手芸品・陶器・木工品・野菜・パン・クッキー等)がテントの中に所狭しと並べられ、「いらっしやいませ」「ありがとうございます」「おかげ声は、暖かい日差しの中をとびかい、楽しい一日となりました。

我らが春光園は、メモ帳・便せん等の紙製品をはじめ、かづら・毛糸たわし・EM菌と種類も豊富だったのですが、売れ行きはまあまあといったところでしょうか。春光園の皆さん!この即売会は毎年行われていきますので、次回は是非お立ち寄り下さい。担当はかわいい売り子と化し待っています。(即売品として何かいいアイデアがある方は担当者へ)

K・E

花見会

4月7日(土)、毎年恒例の桜の花見会が春光園の近くの中原公園でありました。いつになく暖かい日で、公園までの散歩が楽しくなる様なお天気でした。公園の桜の花も満開で、チューリップの花も咲き並びました。そこで食べるお弁当はとってもおいしく、皆、大満足でした。

M・K



調理より

新しく献立を立てる事になりました。A・Kです。

1月から献立を立てる事になって、5カ月がたちました。毎日が時間との戦いで、美味しく、栄養のある、旬の物を取り入れた給食を工夫して作っているのですが、そう上手くいくものではないなとつくづく思いました。春光園に来て4年経ちますが、今までは、現場の中(厨房の中)でしか働いてなかったため、事務と現場の往復の大変さを 새롭게 感じました。

一枚の紙の上で、献立を作る事とそれを実際、調理(料理)する事がこんなにも難しい事だとは思いませんでした。頭の中で簡単と思ってる事が行動となると、必ずどこかで問題点が出てきて、毎日が勉強の日々です。よく失敗という事もあります。その時力バールしてくれる調理の先輩に感謝したいです。

最近では、IT機器、IT時代と言われてるけれども調理だけは、ITではできないので、一品、一品、心のこもった手作り料理を作りたいです。どこの家庭にも、家庭の味というものがあるように、春光園にも春光園の味があります。コンビニ食、ファミレス食、インスタント食と多く出回っている時代だからこそ、春光園の手作りの味を多いに楽しんでもらいたいですね。

これからも、私達は利用者みなさんの胃袋を満たすために、想像と工夫を生かして新たな献立に挑戦していきますので楽しみにして下さい。

A・K

